

平成28年度 部局長マネジメント方針

市長公室長 やまもと 山本 よしのぶ 吉伸



仕事に対する基本姿勢

市長公室は市行政の総合調整、重要事項の推進、また広報広聴業務を担当しております。市の重要な施策・事業をスピード感をもって実行していくためにも、その総合調整機能を発揮しなければならないと考えております。

また広報業務においては、市政運営における公正性の確保と透明性の向上を図るため、市民への情報の公開・提供と説明責任を果たすことが必要であります。

あわせて、本市の魅力を発信することもこれからの広報に課せられた大きな課題であります。ラグビーワールドカップ2019が本市花園での開催が決定され、国内はもとより世界各国から注目されるまち東大阪の魅力を発信してまいります。

広聴業務としては、パブリックコメントをはじめ、市の政策形成過程において市民が参加する機会を提供するとともに、市民の市政への関心を高めてまいります。

平成27年度の振り返り

平成27年4月に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置された総合教育会議の事務局を市長公室政策調整室が担当いたしました。

平成27年度は、会議において本市の目指すべき教育の方向性についての協議を重ね、平成28年度を初年度とする4年間に取り組む重点的な事項を「東大阪市教育行政に関する大綱」としてまとめました。

また広聴事業として、市民生活に関係の深い問題等について、市民の意識、意見等を迅速かつ効率的に把握するとともに、市政への関心を高め、市民参加を促進することを目的とした「市政モニター事業」を実施いたしました。

平成27年度のモニター数は、214名でした。

1 総合教育会議による教育委員会との連携

総合教育会議を定期的に行い、教育行政に関する大綱及びこの大綱に基づき教育委員会において策定した教育施策アクションプランの推進について教育委員会と連携を図ってまいります。また教育行政の課題等についても、会議を通じて市長と教育委員会との協議・調整を行い、連携して取り組んでまいります。

2 市政だよりの充実

行政情報を市民に伝える一番の広報媒体として、市民に手に取ってもらい読んでいただけるように、見やすく・よりわかりやすい紙面作りに努めます。また、市民にとって興味深い、関心のある話題を提供していきます。

3 利用しやすい市ウェブサイトの構築

来年3月に市ウェブサイトのシステム更新を予定しています。平成28年4月に施行された障害者差別解消法の趣旨を踏まえながら、アクセシビリティの確保にも努め、さらに見やすく・使いやすく、ビジュアル的に美しいウェブサイトにしてまいります。

そのためにも、庁内職員で構成する「市ウェブサイト運用管理システム推進委員会」での検討を重ね、市民が求めるサイトを追及してまいります。同時に、担当職員間の意見交流や研修等を積極的に行い、職員のスキルアップにも努めます。

4 市公式 Facebook の充実

市公式 Facebook を活用し、市政などに関するさまざまな情報を気軽な言葉と内容で情報発信しています。ほかにも、各部局長がリレー形式で業務の目標や思い、考え方などを発信する部局長リレーも行なっています。今年度は、部局長だけではなく、その他の所属職員による情報発信も開始し、市行政への理解をさらに深めていただきます。

5 東大阪市のアピールへむけた広報の充実

2019年のラグビーワールドカップ開催を見据え、市ウェブサイトや Facebook などさまざまな広報媒体を使い、市民に対する広報をもとより、全国に東大阪市の魅力を発信し、「住んでよし」「訪れてよし」のまちをアピールしてまいります。

6 広聴活動の充実

市政モニターの一層の充実を図ってまいります。

平成27年度から実施した「市政モニター」をより実効性のある事業とするため、モニター数の増加に向けた広報活動を積極的に行い、より多くの市民の方がモニターとして登録していただき、市政への関心を高めていただくための努力を行います。